

平成21年10月10日

消火器説明会 資料

第42回工大祭実行委員会

1. ガスボンベの接続については、以下の手順で接続してもらいます。

ガスボンベの元栓，コンロのcockが締まっているか確認してください。

調整器がガスボンベにきちんと取り付けられているか確認してください。

調整器、コンロの両側をホースバンドでしっかりとめてあるか確認してください。

二又調整器でコンロを一つのみ使用する際は、片方にキャップがしてあるか確認してください。

ガスボンベがテント部材か机にひもで固定してあることを確認してください。また、ひもは各自で用意してください。

ガスボンベの元栓，調整器のcockを最大に開いてください。

2. コンロの周辺については、図1のように設置してもらいます。

また、以下の点に注意して設置してください。

- ・机を十分に保護できる耐火ボードを敷いてからコンロをのせてください。
 - ・油が外に飛ばないように、必ずアルミ製の風よけをつけてください。アルミ製の風よけがない場合は、企画を行うことができませんので注意してください。
 - ・固定の際はアルミテープを使用してください。
 - ・コンロの周りに燃えやすいものを置かないでください。
 - ・コンロはいつも清潔に保ってください。
 - ・ベニヤ板は地面が汚れるのを防ぐために必ず敷いてください。
- ガスボンベはテント部材か机にひもでくくりつけて下さい。

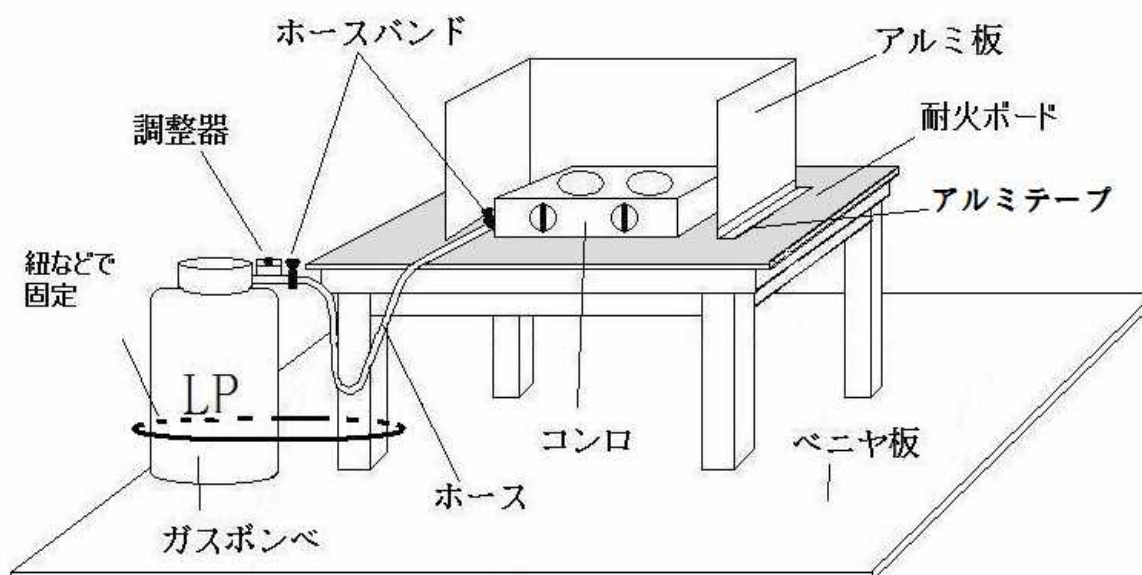


図1 コンロ周辺

3 . 消火器の設置場所について工大祭当日は、以下のようにしてもらいます。

- ・屋外企画では、1店舗につき1本ずつ消火器を貸し出します。
- ・屋内企画では、調理をするか1000〔W〕以上の電力を使用する企画につき1本ずつ消火器を貸し出します。
- ・屋外企画はテント裏の中央に消火器を設置してください。
- ・電気量の多い企画団体は、コンセントの近くに消火器を設置してください。
- ・調理を行う屋内企画は、すぐに消火活動が行える場所に消火器を設置してください。

4 . 火災が発生した場合について

万一、火災が発生した場合には、次の順序で対処してください。

ガスの元栓を閉める。

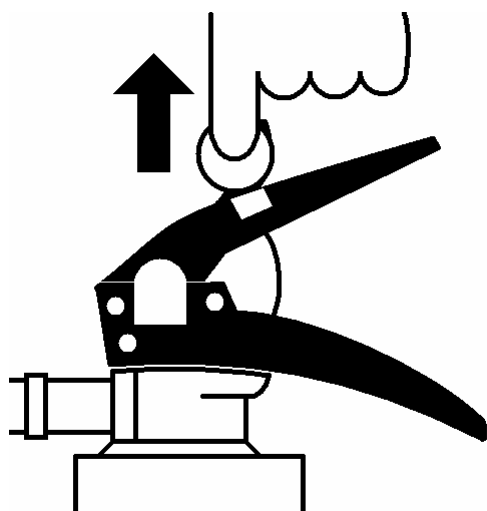
来場者の避難誘導を行う。

速やかに本部に連絡する。また、屋内で企画を行っている団体は火災報知器などで火災発生を知らせる。

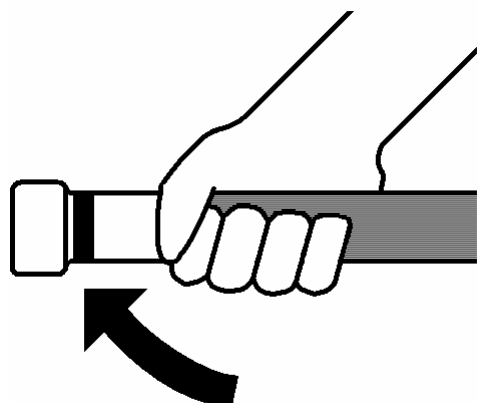
素早く消火活動を開始する。

企画場所の近くで火災が発生した場合は、周りの団体も協力して消火にあたってください。

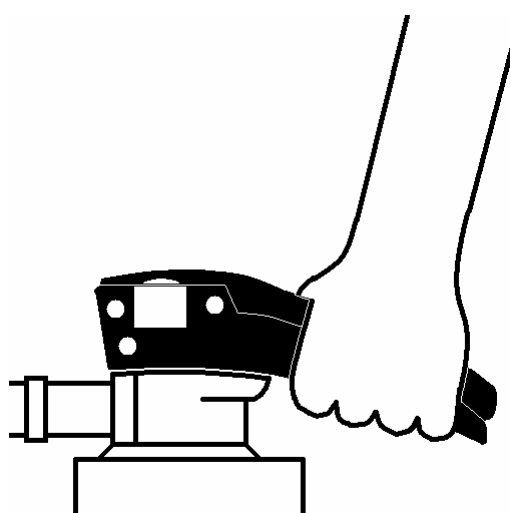
5. 消火器の取り扱い方法



風上に立ち、安全栓を抜く。



左手にレバーを、右手にホースを持ち
ノズルを火元に向ける。



レバーを握る。

消火する場合は手前から奥へ順次
消火する。

図2 消火器の取り扱い方